

平成19年南丹市議会3月定例会は、3月1日に開会し、29日に閉会しました。開会日は、市長の施政方針の後、24件の条例改正等の提案、佐々木市政初の通年本格予算である10会計の予算提案が行われました。7日には4人による会派代表質問が、8日・9日の2日間は、13人の一般質問が行われました。9日には、各種事業費および国・府からの交付金・補助金の額が確定したことによる平成18年度各会計補正予算などの追加議案の提案が行われました。12日から15日にかけては、各常任委員会が開催され、付託された議案の審査を行いました。平成19年度の各予算案は、16日から20日にかけて、予算特別委員会の3つの分科会で審査をいたしました。29日の各常任委員会委員長および予算特別委員会委員長の審査結果の報告があり、質疑、討論の後採決し、全議案を可決しました。

今議会に提出された市営バス運行の請願は、総務常任委員会に付託され、継続審査となりました。

予算成立

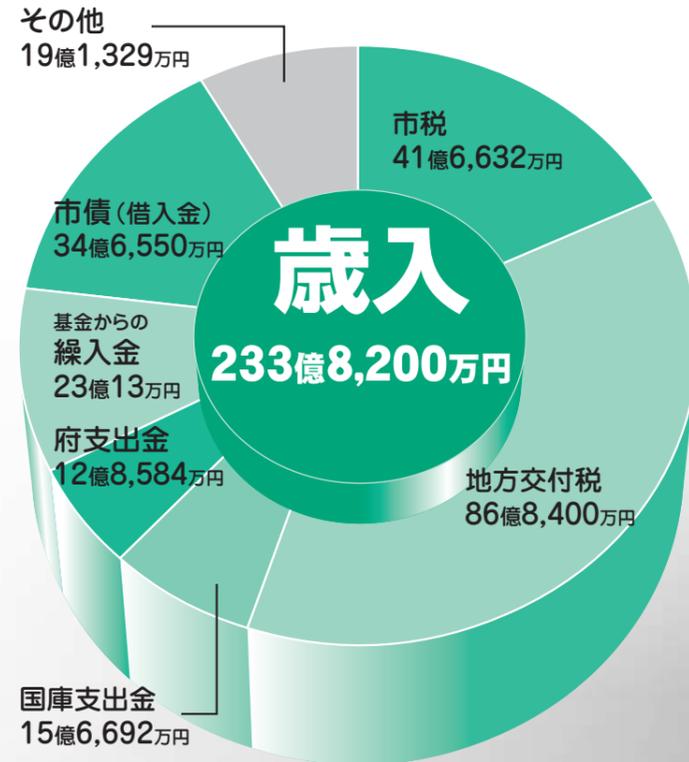
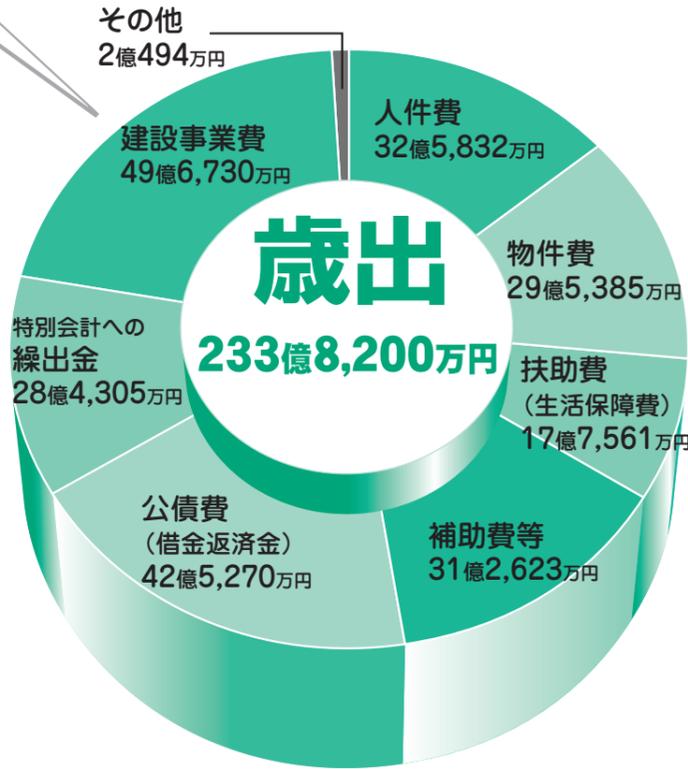
賛成21・反対3

平成19年度南丹市 一般会計

233億8,200万円の

主な建設事業

事業の内容	予算額
殿田小学校改築事業	7億3,265万円
日吉町・美山町地域のCATV伝送路整備事業	5億8,438万円
園部町本町土地区画整理事業	5億1,510万円
JR山陰本線複線化負担金	4億6,921万円
上本町佛大線・内環状線の都市計画街路事業	3億3,560万円
緑資源機構営農用地総合整備事業	2億7,891万円
総合流域防災事業・八木町板野川改修事業	2億3,150万円
防災行政無線（同報系）整備事業	2億1,600万円
移動通信用鉄塔施設整備事業（美山町内）	1億6,602万円
道路新設改良事業（船岡千妻線・本郷垣内線外）	1億6,030万円



予算特別委員会での

主な質疑

総務分科会

問 現業職は嘱託職員で対応していくのか。
答 嘱託職員による公共施設の管理を行政改革の中で考えていく。

問 山陰本線複線化整備事業の完成年度および最終年度の事業費は。
答 平成20年度完成予定で、残事業費は5億6600万円の見込み。

問 自主防災組織を各町に広げるのか。
答 必要性は高いので、組織化の方向である。

問 小・中学校の耐震診断は終了したのか。
答 平成18年度予算で完了し、平成19年度に今後の方針を決定する。

問 防災無線整備事業
答 八木の農業公社への事務委託の内容は。

問 バイオエコロジーセンターの運営管理、農村環境公園の管理委託である。
答 過去、4町で誘致した企業の雇用実態は。

問 29社の誘致企業がある。正社員は1437人で、その内、地元雇用は270人である。
答 平成14年に認可され、18年度末までに22億5100万円を要した。事業費でいくと46%の進捗率である。40人の地権者の内、28人の方が商業をされると聞いている。

の全体計画は。また、どのような利用ができるのか。
答 本年度は八木エリアを整備し、20年度は美山、21年度には園部エリアを順次接続し、整備する。防犯情報と併せ、一般の行政情報等も伝達できる。区内の連絡等も可能である。

産業建設分科会

問 旧日吉町で行われていた地域農業マネージャー制度の実施は。
答 農業委員会農政部会で協議検討されている。

問 農地・水・環境保全向上対策として1794万円が計上されているが、事業の内容は。
答 市負担は4分の1。市内農地の3分の2を

療養タミフルによる事故等の事例は報告されているのか。
答 市内での事例報告はない。

問 船井郡衛生管理組合への市の分担金は、今後増加していくのか。
答 衛管のごみ処理のあり方も含めて、検討していく。

問 閉店した銭湯の代替施設利用者は何人ぐらいか。また、新規入浴施設の検討はされているのか。
答 多いときで10人程度の利用がある。利用者数からしても新たな入浴施設建設は難しい。

問 3年後の障害者自立支援法見直しに向けて各事業所との連携はどのように図るのか。
答 事業所間の連絡会議を立ち上げた。4月以降、定期的に会議を持ち、調整を図っていきたい。

厚生分科会

問 インフルエンザ治